

石川県剣連だより

剣風春秋

第35号
一 発行一
一般財団法人
石川県剣道連盟

〒920-0811
金沢市小坂町西57-3 KS/ハイツ205号室
TEL 076-253-0310 FAX 076-253-0341
E-mail:ishikawa-kendo@iaaitkeeper.ne.jp
URL www://ishikawa-kendo.com

東日本大震災復興支援
第69回国民体育大会剣道競技会
「長崎がんばらば国体」

成年男子5位入賞

専務理事・国体総監督 北野 優

一 はじめに

県剣道連盟では、石川国体以降も上位入賞を目標に積極的に強化に取り組んできた。石川国体以後、成年二部、少年女子の部で入賞するも、成年男子の部においては、幾度となくベスト16には進出するものの、その度に全国の強豪チームに押し返されベスト8の壁は高く強固なものであった。

二 強化方針・犬鷲チームの活躍

昨年度から、山下会長のもと、「国体をはじめ全国大会ベスト8」を強化の目標に掲げ、競技力の向上を目指して取り組んでおり、幸先よく本年三月に開催された「全国スポーツ少年団剣道交流大会」で犬鷲剣道部（県選抜チーム）が見事に全国制覇を成し遂げてくれた。

三 国体強化

今年度の国体候補選手並びに監督始め強化担当は、毎週火・土曜日強化練習日、毎月の県内合宿、県外遠征試合に精力的に参加し、国体ベスト8入りを合い言葉に黙々と稽古を重ね、本国体に臨んだ。

四 選手紹介

- ・先鋒 竹越歳樹（順天堂大）
「山椒は小粒でぴりりと辛い」
- ・次鋒 上登喜文（県警機動隊）
「全日本選手権大会出場で上昇気流」
- ・中堅 尾崎泰之（金沢刑務所）
「開催地長崎県五島の出身」
- ・副将 山田立司（県警察本部）
「百戦錬磨の勝負師」
- ・大将 宇波和彦（金沢向陽高教員）
「大将戦なら任せておけ」

五 試合経過（8ページ参照）

(1)一回戦 東北の雄 宮城県 先鋒竹越堂々とした試合振りで見事な返し胴を決め一本勝。次鋒上登警察官同士の対戦となり互いに激しい攻防が続くも延長となる。上登厳しい攻めから小手を奪取。中堅尾崎

気迫あふれる攻め合いから面を先取。二本連取を狙い面に飛び込むも、相手もさすがに胴に返される。延長に入り尾崎素早い入りから豪快な面を決め会場から大きな歓声上がる。前三人で勝利を確定する素晴らしい展開。副将山田も貫禄の面返し胴で先取、さらに小手を奪い、怒涛の四連勝で宮城県を圧倒。大将宇波は余裕の引き分け。

(2)二回戦 沖繩県

先鋒大学生同士の戦い、面を連取され敗れる。次鋒上登警察官同士の一戦、上段を相手に激しい攻防が続き延長に、一瞬の隙をつかれ小手を奪われる。後がない中、中堅尾崎果敢に攻めて面を奪い一本勝。副将山田冷静な試合運びで面を決め一本勝、五分の戦いとなる。大将宇波攻防の中にも余裕が見られ小手返し面を二本連取しチームを勝利に導く。

(3)三回戦 昨年4位の滋賀県

滋賀県先鋒次鋒は東レ所属の強豪選手。先鋒竹越素早い動きから面を奪い一本勝。次鋒上登攻勢に試合を進め面の一本勝。中堅尾崎、滋賀の試合巧者高田と互いに攻めあうなか絶妙の小手を奪われ一本負。副将山田余裕の攻防から面返し胴を決め、二本目も得意の小手に切って取り、チームの勝利並びに県連悲願のベスト8入り（入賞）を勝ち取った。その瞬間、観戦していた山下会長、北野総監督も目頭が熱くなった。大将宇波、余裕で引き分け。

(4)四回戦 3年後国体の愛媛県 先鋒互いに一本取り合い延長へ、長い戦いだったが面を奪われ敗れる。次鋒上登またも上段との戦いとなる。果敢に間合に入り小手と面を連取し勝を収める。中堅以降、相手が上回り三連敗。愛媛はその後決勝へ進み、2位となる。



六 終わりに

石川国体以降、実に二十三年ぶりの国体入賞であり、選手の活躍に大きな拍手を送るとともに強化に取り組んだスタッフはじめ、ご支援いただいた会員の皆様と喜びを分かち合いたい。さらに、今後の活躍を期して一層精進してまいります。

開設三年「ホームページ」の運用状況について



副会長 南 信廣

当連盟ホームページは、平成二十三年十一月一日に開設し、本年十月末をもって丁度三年が経過いたしました。この間、会員等からの意見・要望等を踏まえながら修正を加えてきたものですが、現在のところ極めて順調に推移しており、総アクセス件数は、一〇七、〇九〇件となりました。その分析結果をみてみますと、

- ◎ 一年目二万件台、二年目三万件台、三年目四万件台と、年々増加している。
- ◎ 月平均二、九〇〇件である。
- ◎ 毎月の約3割が新規である。
- ◎ 海外（米、中、韓、スペイン、ブラジル等）からもある。
- ◎ スマホやタブレット端末からのアクセスが増加している。
- ◎ 平均の閲覧時間は一分半〜二分で、閲覧頁数は三〜四頁である。
- ◎ 新着情報を更新した後の伸びが高い。

ことなどが挙げられます。

一方、この間の新着情報の発信件数は、一五六件となっております。年別では、一年目二十件台、二年目五十件台、三年目六十件台と、これも年々増加してきております。



各委員会や事務局において、その都度こまめに情報発信していること、また、スマホやタブレット端末の普及が急速に進み、簡単にアクセス可能になったこと、などが大きな要因となり、アクセス件数の堅調な伸びにつながっているものと思われまます。今や、当連盟の動向を知り、知ってもらうための重要なツールになっていきます。

今後とも、各委員会はもとより、各地域加盟団体においても、剣道の魅力の紹介、会員や剣道愛好者への情報提供、各団体間の連携強化等に資する積極的な情報発信にご配慮をいただき、より一層の活性化を図っていきたく思いますので、よろしくお願いいたします。

ねんりんピック栃木大会に参加して



理事 坂下 弘

栃木県小山市において、「第27回全国健康福祉大会」が開催され、本県選手メ

ンバーは、県予選から

- 監督 川口憲一（67歳・河北郡）
- 大将 組橋貞夫（75歳・輪島市）
- 副将 伊賀清秀（68歳・金沢市）
- 中堅 米林憲英（64歳・金沢市）
- 次鋒 坂下弘（63歳・金沢市）
- 先鋒 新森正也（62歳・野々市市）

の6名が選ばれました。

大会は、予選リーグを一勝一敗とし、善戦空しく、残念ながら五大会連続の予選リーグ通過はならず、今後の課題を残す結果となりました。

高齢者の集いと雖も、試合となればやはり勝・負を意識します。戦いは一対一でありますが問題は団体として如何に勝利するか（結果をだすか）であり、リーグ戦での戦い方、特に各ポジションの役割と勝数本数を意識した試合運び、一本を大切に勝勝負への執念等を改めて教えられた気がしました。

こうした中で、長年培った剣道の心と円熟した剣捌きから、一寸足りとも気を抜かない素晴らしい二の太刀、三の太刀を拝見する事ができ、今後の修業の参考にもなった大会で



ありました。

また、本大会での最高齢者であるE先生（89歳・徳島県）は、予選リーグ二試合に出

場し、最後まで姿勢を崩さない凛として威風堂々たるお姿に、あの年齢まで果たして自分は出来るかな、と自問しながら拝見させていただきました。

私自身、三十六年振りに全国規模の大会に参加させていただいたことで、第二の人生で剣道ができる喜びと全国の剣友と触れ合うことができたことに今後の生甲斐を感じるとともに、「生涯剣道」への思いを強く感じた次第であります。

今剣道を楽しんでいる方はもとより、「昔取った杵柄」でもう一度剣道をやってみようと思っっている方がいましたら、是非竹刀を握ってみて、そしてこの大会にも参加しては如何でしょうか。きっと素晴らしい第二の人生が開けると思っています。

「剣道手帳」の活用

広報委員長 近藤 繁彦



平成二十七年以降、当連盟は「剣道手帳」の活用を推進していくこととしておりますが、以下その概要について説明いたします。



- 一 目的
- (1) 一般財団法人化に伴い、会員の皆様に誇りと責任を持っていただき、組織化を図ること
 - (2) 称号・段位の把握と確認
 - (3) 全剣連「社会体育指導員」「日体協「公認スポーツ指導者」資格及び更新期限を把握すること
 - (4) 全剣連及び当連盟主催の講習会受講歴を把握すること
- 等を目的としております。以下、個別に説明いたします。

二 剣道の理念等

剣道の理念

(全剣連 昭和50年3月20日制定)
剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である

剣道修練の心構え

剣道を正しく真剣に学び心身を錬磨して旺盛なる気力を養い剣道の特長を通じて礼節をとうとび信義を重んじ誠を尽して常に自己の修養に努め以って国家社会を愛して広く人類の平和繁栄に寄与せんとするものである

「剣道の理念」「剣道修練の心構え」そして「剣道指導の心構え」を最初に記載してあります。全剣連で制定されたこの三つが剣道修練及び剣道指導における目的であるからです。

三 個人データ

| | |
|--------|-----------|
| 全剣連番号 | |
| 氏名 | |
| 生年月日 | S・H 年 月 日 |
| 加盟地域団体 | |
| 住所 | 〒 石川県 |
| 電話 | (自宅) (携帯) |

全剣連番号、生年月日等の記載は審査や講習会の願書や申込書の必須

データとなります。個人の備忘録として、また事務局の把握の必要となります。

四 称号・段位

| 剣道 称号・段位 | 取得年月日 | 確認印 | 取得年月日 | 確認印 |
|----------|--------------|-----|-------|--------------|
| 初段 | S H . . . | | 六段 | S H . . . |
| 二段 | S H . . . | | 七段 | S H . . . |
| 三段 | S H . . . | | 八段 | S H . . . |
| 四段 | S H . . . | | 錬士 | S H . . . |
| 五段 | S H . . . | | 教士 | S H . . . |
| | | | 範士 | S H . . . |

三道の称号段位の記載欄です。次の審査会への準備、願書への記載、事務局の確認等の際活用できます。

五 全剣連「社会体育指導員」日体協「公認スポーツ指導員」

(一財)全日本剣道連盟 社会体育指導員

| 級 | 取得・更新年月日 | 確認印 |
|---|----------|-----|
| H | . . . | |
| | . . . | |
| | . . . | |
| | . . . | |
| | . . . | |

(公財)日本体育協会 公認スポーツ(剣道)指導者

| 取得・更新年月日 | 確認印 |
|----------|-----|
| H . . . | |
| . . . | |
| . . . | |
| . . . | |
| . . . | |

七 剣道手帳利用の心構え
手帳利用に際しての諸注意等を記載してあります。特に段位審査会や講習会等に参加する場合は必ず手帳を携行し提示の上、連盟確認印を受けるようお願いいたします。
「剣道手帳」の購入は任意ですが、ぜひ当連盟会員には、ご購入いただき、その活用に努めていただくことを推進してまいりたいと思っております。

六 講習会等受講歴

| 年月日 | 講習会名 | 確認印 |
|---------|-----------------------|-----|
| H . . . | 日本剣道形・審判法・指導法・その他 () | |
| . . . | 日本剣道形・審判法・指導法・その他 () | |
| . . . | 日本剣道形・審判法・指導法・その他 () | |
| . . . | 日本剣道形・審判法・指導法・その他 () | |
| . . . | 日本剣道形・審判法・指導法・その他 () | |

県剣連主催大会の審判員の選定等に活用されます。

社会体育指導員の初級・中級・上級並びに公認スポーツ指導員のそれぞれの取得年月日及び更新期限(4年間有効)の把握と事務局確認、さらに「公認スポーツ指導員」所有者による国体監督の資格確認等に活用されます。

授業協力者養成講習会 期待される授業協力者

評議員 北川 信之



七月四日～六日の三日間、日本武道館研修センターで開催された中央講習会

に田上雅治副会長と受講してきました。これは、平成二十四年度からの中学校保健体育科における武道必修化に伴い、文部科学省から委託を受けた全日本剣道連盟が平成二十五年度から「授業協力者養成事業」を実施し、今回が二回目となるものです。

一 開講式・講義

十月二十五日(土) 石川県剣道連盟のご支援のもとその伝達講習をさせていただきました。開講式に続き、中村康徳副会長から本事業の趣旨・ねらい並びに実施状況調査結果を踏まえた県内外中学校の実態について詳しく説明がありました。

二 本講習会の意義

剣道の理念(人間形成)と教育基本法に示されている教育の目的(バランスのとれた人格形成)は共通するものであり、剣道を正しく学ぶことによる教育効果は大いに期待されます。しかし、今日の生徒の実態は多様化しており授業に対するモチベーションも様々です。そうした

中、限られた授業時数内で如何に剣道の特性に触れさせかつ教育目標の実現と同時に剣道を好きにさせるかは保健体育科教師と授業協力者との連携・協力・指導の工夫に尽きると考えられます。

三 実技

その後会場を剣道場に移し、保健体育科教師(T1)が授業協力者(T2)の協力を得ながら安全で楽しく授業を展開する例を紹介しながら実技講習を行いました。

(1) 剣道具のない場合(午前)

① 楽しい動機づけ
ゲーム的要素を盛り込んだ体ほぐしや待ごっこで心と体を開放し興味・関心・意欲をひきだしました。(新聞紙切り)



(面手拭いの奪い合い)
(ボール大・小を打つ)



(2) 剣道に必要な動きづくり

手刀で基本動作から対人的しかけ技・応じ技へとスムーズに発展させることができました。特に、初心者には大変有効な学習法だと感じています。

(3) 礼法と所作

伝統的な行動の仕方を学ぶ中から精神文化を理解し、相手を尊重する心を養うもので、剣道授業では最も大切にしたい所です。

(4) 打ち方・打たせ方

竹刀での段階的指導による打ち方・打たせ方を行いました。

(5) リズム剣道

音楽のリズムに合わせた剣道の体さばきや基本打ちを時間の関係で少しだけ紹介しました。

(2) 剣道具のある場合(午後)

① 竹刀での剣道基本技稽古法
剣道具をつけて行いました。学習指導要領に示されている中学一・二年生の学習内容から基本1(突きは

省く)～基本6を行いました。工夫すれば授業でも系統的に発展させることができると思います。



(2) 簡易試合

既習の技や体さばきのできばえを競うもので基本打ちの判定試合を紹介しました。評価の基準を明確に示すことで、早い段階から授業でも試合を楽しむことができます。グループの人数を工夫することで、生徒にいろいろな役割分担を与え授業に参加することができると思います。

終わりに、高い知識及び技能を有する授業協力者の参画・協力により①質の高い授業②安全な授業③教師の指導力向上に寄与していることが武道(剣道)アンケート結果報告から明らかになっています。授業協力者として要請や依頼があれば、その期待に応えられるよう日々の精進を重ねなければならぬと思っております。

全剣連後援 剣道講習会(指導法)

事務局長 倉 久廣



でおります。

今回の講習会は、全剣連から遠藤勝雄範士を講師として派遣していただき、受講生として県内各地域・職域から67名が参加いたしました。

遠藤講師は最初の剣道講話において「剣道を通じて立派な人間形成に結びつけていく、という『剣道の理念』に基づき指導することが大切である」と指導の基本的在り方、さらに、指導者が自ら示範しながら指導していく重要性について熱く説かれ



ました。

また、実技指導は「木刀による剣道基本技稽古法」から始まり、基本1から基本9までについて、各ポイントを具体的かつ丁寧な指導をなされました。

その後、剣道具を着け、竹刀で打突する基本技・応用技を実践的にご指導いただき、受講生は真剣に反復練習いたしました。



「高段者になると元に立つ機会が多くなるので、受けの剣道になることがあるが、自分を磨くためには、先生方に懸かる剣道が必要である」との言葉に、受講生一同、心を引き締められ、初心に戻る大切さを改めて学びました。

講習会終了後、遠藤講師には大変お疲れのところ、県剣連合同稽古会でもご指導をいただき、大変有意義な講習会となりました。

「第二回女性研修会」

女性委員長 岩脇 律子

十月十一日(土)に第二回女性剣道研修会が、安江正紀先生教士八段、岩脇司先生教士七段を講師にお迎えし、小松市桜木体育館にて開催されました。参加者は昨年より十名以上増え、七尾市から加賀市までの剣道を愛する女性ばかり総勢三十八名で、盛大な研修会となりました。

内容は、女性剣道修行者のための講話と実技で、剣道が続けていく上での考え方や稽古の方法として、大変参考になるものでした。また、今回は、場所を替えて第二部も設定し、懇親会と講話(ビデオ視聴)が夜十時半まで行われました。参加した方お一人お一人のお話を聞くことができ、楽しいひとときでした。

研修後のアンケートでは、「女性であることに着目されたご指導は大変ありがたかった。」「普段女性が集まって稽古することがないのでとても貴重な機会だった。」等、皆様参加してよかったとお答えくださいました。また、「お互いの稽古をもっとしたい。」「お互いのお話を聞きたい。」「と前向きなお気持ちを感じられる回答も多数ありました。それでも、悩みはたくさんあり、家庭のこと、体力面、稽古相手等、様々です。しかしながら、それらの中にはお互いに情報交換することによって解消

できそうなこともありそうです。そのようなことを念頭に、また来年の企画をしていきたいと思えます。何はともあれ、本研修会が、石川県女性剣道愛好家の皆様において恒例行事となりつつあることを大変うれしく思っております。

昨今、全国的に見て女性剣道の質は急速に上がってきています。全国大会や審査会でご存じの通りです。そんな中、石川県の女性の剣道人口は、全国と比較して決して多くありません。大会、審査会等の結果においてもよい方とは言えません。だからこそ、普及が第一だと考えています。時間がかかるかもしれませんが、多くの皆様と剣道を通して交流し、地力をつけていきたいと思えます。今後ともよろしくお願いいたします。



剣道部訪問

金沢高校

近年、県内大会では常に上位に位置し、安定した力を発揮している金沢高校剣道部。こういった実績の元となる稽古には何があるのか。

訪問した当日は試験期間であり、練習は一時間程度であった。切り返しと打ち込み稽古というシンプルな練習内容ではあったが、谷口智先生



の指導観が窺えたものであった。

切り返しを繰り返し何度も行いう合間合間に生徒を集合させ、各自が何を気をつけているかを問う。「気迫です。」と答えた生徒に対して谷口先生から「具体的には？」と問われ、「気合いです。」と答えると、「『気合いい』って何だ？何のために？ねらい

は？」と問う。ここで答えに窮してしまうわけだが、こういった問答を通して生徒に考えさせ、目的意識を具体的に持たせ、自ら考え求めている姿勢を養っていく。入学当初は言葉が乏しく、深く考えられなかった生徒も少しずつ考える力がついていくようだ。



練習内容は時期や段階によって変えているそうだが、曜日によって変えることもあるそうだ。また、剣道の練習だけではなく、基本的な生活習慣の確立を目標に掲げ、「応援される部になろう」をモットーに、毎朝校内の清掃活動を取り入れている。これは一つのことを継続することの難しさを体験させ、勉強や剣道にも活かして欲しいとの目的から始めたそうである。

谷口先生には「チームで勝つ」ために、生徒の様々な個性や考え方を最大限に生かしたいという思いがある。それぞれの生徒が個性を発揮し、それぞれの個性が絡み合って試合に勝つという勝ち方を目指す。そのためには平日頃から生徒一人一人が自ら考え、求めていく姿勢を大切にしていなければならない。また、保護者の協力も必要不可欠であり、様々な機会を通して保護者との意思疎通を欠かさないようにしている。そういった指導方針が時間をかけて浸透していき、今の金沢高校の実績へと結びついていると実感した。他校との違いとしては遠征の機会が比較的少ないこと。結果を焦らず、じっくりと剣道に向き合わせ、段階に応じた課題を確かめるために遠征に出ていくという方針が他校との違いにも現れているようだ。



部員を代表して男女キャプテンに練習の達成感について聞くと、「練習試合で課題を見つけ、その課題が次の練習試合で克服できたとき」、「苦しい練習でもみんなで励まし合ったり助け合ったりして、みんなが苦しい場面を乗り越えたとき」という答えが返ってきた。谷口先生の「考えて取り組む稽古」、「チームワークで勝つ」という指導が部員たちにもしっかりと浸透していると感じた。

また、現役部員だけではなく、これまで優秀な実績を残して今なお現役選手として活躍している卒業生も多く輩出している。金沢高校剣道部の稽古をきっかけとして、剣道の楽しさや奥の深さに触れ、さらにその魅力を追い求めていく剣士が少しずつ県内外に増えつつあるようだ。

最後に目標は？と聞くと、「全国で評価されるチーム作り。最終的には日本一！」と。今後の金沢高校剣道部の飛躍を期待したい。



(広報委員 島 洋介)

感謝、剣道七段合格

宝達志水町 山本 重之



「そんなんで七段は受からないよ」
こんな厳しい言葉
を田畑先生よりい

いただいたのは、六段に合格して初めて先生に懸り、二三本打った後のことでした。私の周りでは「鬼の田畑」と先生のことを称している人もいますが、まさしく本当の鬼を感じた瞬間でした。この時より私の七段への挑戦が始まりました。

私は、月・水・土曜日に「宝達少年剣道教室」、火・土曜日に田畑先生にご指導をいただく「宝達会」、木曜日に中村康徳先生にご指導をいただく「羽咋木錬会」と恵まれた環境で稽古をさせていただいておりませんが、この環境に甘え、手を抜き、気を抜くのが私です。先生のあの一言は技ではなく、私のこの稽古に取組む姿勢をご指摘いただいたものでした。

このころの私の稽古は、打たれた時、いつも自分自身に言い訳をしていました。「今の相手の技は、横から来たから、担いでいたから」などと打たれた口実をつけて相手の打突を認めず、自分の未熟さから逃げようとしていました。当然

審査においても、この稽古のつけは出てきません。この逃げる癖は、審査では、「恐懼疑惑」という形で現れ、相手と戦う前に自分との戦いから逃げていました。

このような未熟な私ですが、田畑先生を始めとする剣道を通して関わりをいただいた先生方は、ありがたいことに私を見捨てず、常に妥協しない厳しい稽古とお言葉をいただき、また剣道仲間はいっつも励ましてくれました。

特に、剣道教室で私が指導する少年剣士は、真摯な熱いまなざしで、いつも私を叱咤激励してくれました。心身ともに落ち込んだ時、どれだけ支えになってくれたことが分かりません。そのおかげを持ちまして未熟な私ですが、七段合格をいただきました。

本当に剣道は私にたくさんのお会いを与えてくれました。今回の審査が終わった後、立会の相手に思わず「剣道は難しいですね、でも奥が深く面白いですね。」と言っていました。剣道は本当に奥が深く、それだけにそこに関わった人達との関係は素晴らしいものがあると思います。この素晴らしい出会いに、まさしく感謝の一言であります。

今後とも剣道の継続を第一義とし、石川県剣道連盟発展のため微力ですが努力いたします。

居合道六段を拝受して

内灘町 望月 隆



平成二十六年
十一月の居合道審査会
で六段を拝受
いたしました。

これまで武田清房範士はじめ多くの先生方に支えていただき、ようやく到達できました。感謝の気持ちで一杯です。「なんとか支えてやっただけか」と先生方はほっとさされているのではないかと思います。手取り足取りの丁寧なご指導なくしては得られなかった合格でした。

思い起こしてみますと、四回の受審を重ねるなかで、稽古への取り組みに大きな変化がありました。少し前まで私の稽古法は淡々と抜き本数をこなして気持ちのよい汗をかくことが中心で、筋トレや運動の域を出ませんでした。五段を戴いた頃、ある先生に「その稽古のやり方、変えようよ」とご指摘いただいたのですが、当初その意味がわかりませんでした。たしかに稽古は《いにしえを考え、達人に近づこうと鍛錬する》こととすれば、真の稽古になっていませんでした。

居合道の稽古はまず先生方のご指導、ご指摘に素直に向き合う

ことが大切です。そして、足りないものを補うよりも、自分の居合にこびりついた癖を一つ一つ削ぎ落すことがより大切であることに気づきました。私は敵を早く切ることをイメージするあまり、足腰が決まる前に切下ろしてしまい、そのために体が前後に揺らぎ、動作と動作の間に気が抜けるという悪い癖がありました。これを修正するために直前まで先生方のお手を煩わせ、いわば矯正中に審査の日を迎えたのですが、かろうじて間に合ったものと考えています。

日頃から心の感度を上げておくことは先生の発してくださったメッセージに感応する上で大切ですし、またそのような先生方のご指摘がなければ自分の癖に気づくのは至難の業です。苦杯を重ねたのは、稽古の絶対量の不足に加え、こころした気づきに時間がかかったためと反省しております。

今後は合格に決して慢心する事なく、まだまだ削ぎ落せていない癖を修正し、端正な居合をめざして稽古を続けていきたいと考えています。

先生方におかれましては今後とも変わらぬご指導くださいますようお願い申し上げます。

【全国大会等の記録】(7~12月)

◎第6回全日本都道府県対抗女子

7月19日(土) 日本武道館

1回戦 石川②-1愛媛

2回戦 石川0-1兵庫

◎全日本少年少女武道錬成大会

7月26~27日 日本武道館

大会二日目 第六ブロック

ブロック敢闘賞 新化館(石川)

◎全国高校総体(インターハイ)

8月1~4日 小田原市

▽男子団体予選リーグFブロック

羽 昨③-1盛岡一

羽 昨1-1城 北

決勝T1回戦羽昨0-③島原

▽女子団体予選リーグAブロック

琴 平④-1金沢桜丘

甲府商②-1金沢桜丘

▽男子個人 高西祥(羽昨) 2回戦

下池(羽昨) 2回戦

▽女子個人 濱田(羽昨) 2回戦

北江(羽昨) 1回戦

◎第55回全国教職員剣道大会

8月10日(日) 高松市総合体育館

1回戦 石川③-0岐阜

2回戦 石川0-②大阪

◎第44回全国中学校剣道大会

8月17~19日 高知県民体育館

▽男子団体 津幡中 予選3位

▽女子団体 羽昨中 予選2位

▽男子個人 四郎丸(森本)ベスト8

準々決勝四郎丸-下岩切(勝浦)

▽女子個人 大森(中能登) 2回戦

横町(中能登) 1回戦

◎第35回北信越国体剣道大会

8月24日 羽昨市

▽少年男子 2位 石川

▽少年女子 3位 石川

▽成年女子 4位 石川

◎第52回全日本女子選手権大会

9月7日(日) 兵庫県立武道館

1回戦 澤田 一反 遠山(愛知)

◎第9回全日本都道府県対抗少年

9月14日(日) 大阪市舞洲アリーナ

▽小学生の部 石川1-②秋田

石川0-①高根

▽中学生の部 石川①-0岩手

石川1-②香川

◎第26回全国健康福祉祭剣道

10月5~6日 栃木県小山市

予選 石川④-0広島市

石川1-②山梨県

◎第69回国民体育大会

10月19日~21日長崎県五島市

▽成年男子 ベスト8

1回戦 石川④ 0宮城

先 竹越下- 武田

次 上登コ- 佐々木

中 尾崎双-下澤田

副 山田コ- 佐藤

大 宇波- 高橋

2回戦 石川③ 2沖繩

先 竹越-双桃原

次 上登-コ仲間

中 尾崎メ- 山田

副 山田メ- 比嘉

大 宇波双- 大城

3回戦 石川③ 1滋賀

先 竹越メ- 各務

次 上登メ- 藤田

中 尾崎-コ高田

副 山田コ- 首藤

大 宇波- 安田

準々決勝石川1-④愛媛

先 竹越メ-双桑原

次 上登コ- 鎌村

中 尾崎-下馬越

副 山田-双新谷

大 宇波-コ遠藤

◎第49回全日本居合道大会

10月25日(土) 福島県

五段1回戦 高柳0-③山田

六段1回戦 中村1-②角田

七段2回戦 松原1-②林

◎第62回全日本剣道選手権大会

11月3日 日本武道館

1回戦 上登メ-双高橋(東京)

中央審査会合格者

◇剣道▽七段

宮川 泰栄 黒氏 毅志

山本 重之

▽六段

井尾 雅昭 北井淳之輔

◇居合道▽六段

望月 隆

林藤武道具店

〒920-0803 石川県金沢市神宮寺町1番地83
Tel.076-252-2220 Fax.076-252-2240
HP <http://www.rindoubudougu.jp/>
E-mail:budou@chive.ocn.ne.jp

●定休日/月曜日

【営業品目】
剣道・柔道・空手・なぎなた・武道具全般
(刺繍・ゼッケン・ネームプリントも承ります)



武道具の
ハシモト

金沢市上荒屋7丁目67 TEL 249-8233
〒921-8065 FAX 249-9139